

ぴあ総研と龍谷大学が連携協定を締結

～集客エンタメを通じたウェルビーイングと共生社会の実現を目指して～

ぴあ株式会社(代表取締役社長: 矢内 廣)のグループ会社である、ぴあ総合研究所株式会社(代表取締役社長: 吉澤 保幸、以下「ぴあ総研」)は、2025年3月15日、学校法人龍谷大学(所在地: 京都市伏見区、学長: 入澤 崇)と、「文化・芸術・エンタテインメント・スポーツ等を通じたウェルビーイングの追求および共生社会の実現」を目的とする連携協定を締結いたしました。

本協定は、龍谷大学社会学部が2025年4月に瀬田キャンパス(滋賀県大津市)から深草キャンパス(京都市伏見区)へ移転することを契機とし、教育・研究・地域連携のさらなる発展を目指すものです。あわせて、ぴあ総研 代表取締役社長・吉澤 保幸および取締役所長・笹井 裕子が、龍谷大学の客員教授に就任しました。講義や社会的課題をテーマとしたプロジェクト型授業などへの参画を通じて、次世代を担う人材の育成を共に推進してまいります。



3/15(土) 龍谷大学大宮キャンパス本館内で行われた締結式にて。
左より、入澤崇学長、吉澤保幸

また、2028年度に京都駅前に始動予定のイノベーション拠点「共創 HUB 京都」では、相互のネットワークを活かしながら、新たな価値創造と社会実装を実現する具体的な連携方策の検討を進めていく予定です。

ぴあグループでは、SDGs の“18 番目の目標”として「文化芸術・エンタテインメント・スポーツの必要性」を掲げ、これらの社会的価値の探求と社会実装に取り組んでまいりました。本協定は、その理念をさらに発展させるものであり、産学連携を通じて、集客エンタテインメントを基盤とした持続可能な社会モデルの構築を目指します。

ぴあ総研は今後も、多様なパートナーとの連携を通じて、SDGs のその先を見据えながら、文化芸術・エンタテインメント・スポーツを通じた持続可能な未来づくりに取り組んでまいります。

●ぴあ総合研究所株式会社代表取締役社長 吉澤 保幸 コメント

ぴあグループは、『ひとりひとりが生き生きと』を企業理念に掲げ、エンタテインメントを人々の心を潤す『感動のライフライン』と考えています。このたび、龍谷大学が培ってこられた建学の精神に根差した『共生』の理念と、多様な社会課題に真摯に向き合う姿勢に深く共感し、本協定が実現しました。文化・芸術・エンタテインメント・スポーツを活かしたウェルビーイングの追求や共生社会の実現に向け、ともに挑戦できることを大変嬉しく思います。産学連携のもと、感動を社会に実装する新たな形を模索し、エンタテインメントの持つ可能性をさらに広げることで、より豊かで活力ある社会の実現に貢献してまいります。

【学校法人龍谷大学】

1639年に浄土真宗本願寺派の教育機関「学寮」として創立して以来、浄土真宗の精神を建学の精神とし、人間性豊かで深い学識と教養を備え、社会の発展向上に貢献する人材を養成することを目的に諸活動を積み重ね、現在では、10学部1短期大学部10研究科、学生数約2万人を擁する総合大学。行動哲学に「自省利他」を掲げ、社会に貢献できる人や活動を生み出し、SDGsや社会変革に向けた取組みや地域社会との連携などを、他大学に先駆け取り組んでいます。

【共創 HUB 京都】

2028年、京都駅前に大学・金融・不動産デベロッパーがタッグを組むイノベーションハブ拠点「共創 HUB 京都」が始動予定です。施設内には、スタートアップ支援に特化した京都信用金庫の支店やシェアオフィス、シェアラウンジ、アートギャラリー、料理学校などが設けられます。また、龍谷大学のサテライトキャンパスや、多様な学生や社会人の交流を促すスペース、さらに交流型の学生寮や賃貸マンションも備える予定です。

「共創 HUB 京都」の立地は、京都駅から東に約500メートルという好立地であり、地域の起業家や学生、アーティストなど多様な人々が集い、つながり合う場となることが期待されています。

[報道関係のご取材窓口]

ぴあ株式会社 広報室 TEL: 03-5774-5294 E-mail: koho@pia.co.jp